

スポーツにおける地域活性化の現状と課題 —まちおこしと震災復興に着目して—

竹原 健介（生涯スポーツ学科 地域スポーツコース）

指導教員 佐藤 馨

キーワード：スポーツ，地域活性化，まちおこし，震災復興

1. 緒言

はじめに，スポーツ活動が地域住民同士のコミュニケーション手段となる事を期待されている（宮良ら，2013）。「まちおこし」と「震災復興」の違いは，「まちおこし」はその町の特色である産業や行事等を活用し，町を活性化させること，「震災復興」は震災により衰退した地域や都市が再び盛んになることを意味しており，実際には状況が全く違うと言える。そこで本研究は，地域活性化の効果と方法に言及した文献を収集し，地域活性化の現状と課題についてまとめ，さらにスポーツを用いた今後の改善策等について明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

本研究は「地域活性化」，「まちおこし」，「震災復興」をキーワードに CiNii で検索した文献をまとめる。震災復興に関する文献は，大規模の震災を扱ったものを収集するが，その理由は近年，大規模の災害が多いからである。さらに，まちおこしも震災復興と近い年代の文献を収集する。

3. 結果と考察

1) 被災地支援の現状

図 1 によれば被災地支援を「していない」という回答が圧倒的に多かった。次に「何かしたいが，何をしても良いかわからない」が多かった。これは復興支援の情報が行き届かず，こうした結果に至ったと思われる。被災地に直接足を運ぶには被災地の安全性確保とそれに関する情報提供が課題となる。

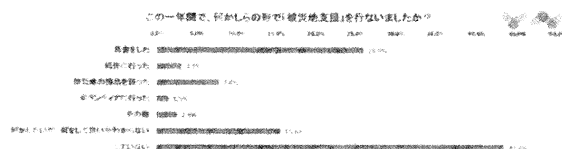


図 1 被災地支援の実施状況

2) まちおこしの現状

表 1 スポーツ教室・行事への参加状況

スポーツ教室・行事の認知度	スポーツ実施率	
	週1回以上	週1回未満
よく知っている	7.6	2.2
知っている	41.1	33.5
あまり知らない	33.3	35.2
知らない	17.9	29.1
合計	100.0	100.0
P<.001		
スポーツ教室・行事の参加度	スポーツ実施率	
	週1回以上	週1回未満
参加したことがある	11	3.4
参加したことがない	89	96.6
合計	100	100
P<.001		

表 1 をよるとスポーツ教室や行事について「あまり知らない」と答えた者が半数以上に及んだ。一方「よく知っている」「知っている」の割合に比べ「参加したことがある」と答えた者の割合が大きく下回っていた。

4. まとめ

地域活性化のイベントを実施するには地域住民の参加が不可欠である。したがって，イベントの広報が重要になることが分かった。またスポーツを「見る」人たちは，少なからずスポーツに興味があり，スポーツを「する」潜在性を持ちうる人々である。その人たちをいかに「する」人に押し上げるかが，スポーツによる地域活性化やスポーツ振興に関わってくるであろう。

5. 引用参考文献

宮良俊行，小島大輔（2013）「スポーツによるまちづくり」に関する研究課題の整理 長崎国際大学論集 第 13 巻 11-20